

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

谷相地区集落営農組合総会を開催！
オペレーター部会を開催！
水稲栽培研究会を開催！
直販部会を開催！
ほか

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で行った活動を、地域の皆様にご紹介するために作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センターでは、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

平成二十一年に「咲かそう・実らそう谷相の夢」をスローガンに谷相地区集落営農組合が設立され、「エコファーマー」「農作業受委託組織の設立」「所得向上に向けたアジサイ栽培や直販活動」「青ネギ栽培」「交流」の取り組みが始まりました。

集落営農組合総会を開催！

六月二十四日に谷相公会堂において「谷相地区集落営農組合総会」を開催しました。

総会では、活動実績・決算、活動計画・予算について協議され全会一致で承認されました。

農家からは、「集落営農の活動が軌道に乗るまで何年もかかると思うが、組合の活動は集落にとって必要なことであるので継続して続けていけるようにしたい」との声がありました。



集落営農組合総会1



集落営農組合総会2

オペレーター部会を開催！

六月三日に谷相オペレーター部会総会を開催しました。会では提案された議案については満場一致で承認さ

れました。また、オペレーターとして一名が新たに加入しました。

その他に、組合員からの提案により、「谷相オペレーター組合」から「オペレーター部会」へ組織の名称変更を行うことになりました。参加者からは、「やっているときはそんなに思わなかったけれど、活動実績にまとめてみたらいろいろな活動をしているのが改めて分かった」などの意見が出されました。農作業受委託については、七月から共同防除を実施し十月には収穫調整作業を行います。

今年度は昨年と比較すると、「葉いもち病」「斑点米カメムシ」の発生は少なかったのですが、七月下旬に「セジロウンカ」、八月中旬に「コブノメイガ」、九月上旬に「トビイロウンカ」が平年より多く発生し、防除の回数が増えました。



オペレーター部会総会



6月3日現地検討会

「水稲栽培研究会」を開催！

◇「現地検討会」 〆六月二日〆

研究会員のほ場を巡回し、水稲生育状況の確認や平成二十二年度「谷相地区水稲栽培こよみ」について検討を行いました。参加者からは、「今年度エコファーマーの取り組みとして微生物農薬で種子消毒を行った。今のところ順調である」「箱処理剤は何を使っているか」等研究会員間で情報交換をすることができました。

◇「現地検討会」 〆七月二十三日〆

実証ほ場三カ所の出穂日の予測を行いました。生育状況については、若干遅れ気味でした。病害虫の発生状況につい



ては、実証ほ場一カ所でウンカが発生しており、防除の指導を行いました。

今後、水稲栽培研究会では十一月十八日に、「水稲栽培研究会」を開催し、実証ほ場の成績結果や表示の検討会を開催する予定です。

「直販部会」を開催！

◇「POPの作成及び年間計画の検討」 〆四月二十七日〆

平成二十二年度直販部会の活動計画の検討と栽培履歴の記帳方法の説明を行いました。

また、「蕪生の里」直販所へ提案できるようにPOPの内容を検討しました。POPは、六月に直販部会実証ほ場で収穫を迎える「じゃがいも」、直販所から依頼のあった「乾物の戻し方」を検討しました。

年間計画の検討では、ジャガイモの後作にさつまいも、白菜等を栽培することになりました。

◇「ジャガイモの収穫」 〆六月二十九日〆

谷相集落の「直販部会実証ほ場」において、三月に定植した「ジャガイモ」の収穫を行いました。収穫したジャガイモは、悪天候のため追肥ができず、小イモばかりでしたが、秋には、それを種芋にして栽培に再挑戦することになりました。

また、ほ場の一部に畝を立て、サツマイモの茎を定植しました。

◇「表示等合同勉強会」 〆七月二十三日〆

「水稲栽培研究会」「直販部会」が合同でJAS法に基づく表示方法について勉強会を開催しました。

香り米や餅米の表示の方法や米を検査する場合の費用、カット野菜の表示の方法などについて多数の質問が出されました。



農家からは、「生鮮食品や米の表示方法について再確認することができた」との声がありました。

◆「実証ほ場ジャガイモ・大根等播種！」へ九月六日・十日

谷相集落の「直販部会実証ほ場」において、ジャガイモの定植や大根、カブ、ほうれん草、チンゲンサイ等のほ場を行いました。参加者からは、「十一月に予定している交流会の直販で販売できるようにしたい」「株間が今まで狭すぎであることが分かった」等の声がありました。十月中旬には、実証ほ場の作業と併せて、直販部会員のほ場を巡回する予定です。



ジャガイモ収穫 1



ジャガイモ定植



ジャガイモ収穫 2



大根等播種

「交流専門委員会」を開催！

◆「交流会開催について検討」へ八月三十一日

昨年度に引き続いて「またきいや谷相へ」（交流会）の開催について検討しました。参加者からは、『「またきいや」とスローガンにあるので昨年度一回の開催でやめるのはいかんと思う』との声があり、十一月七日（日）に

「またきいや谷相へ」（交流会）を開催することになりました。

◆「交流会内容について検討」へ九月十四日

交流会の内容（おにぎりづくり、稲わらリースづくり等）や参加費、当日の役割分担等を検討しました。「谷相の良さや地元のおいしいお米のPR」を目的に十月二十九日には、プレ交流会（稲わらリースの土台づくり等）、十一月七日に「またきいや谷相へ！」（交流会）を開催する予定です。



交流会開催について検討



交流会内容について検討

交流会の開催！

十一月七日（日）に、「またきいや谷相へ」と題し、谷相直販部会実証ほ場での収穫体験やおにぎりづくり、稲わらリースづくりを内容とした交流会を開催します。また、交流会開催にあたり、十月二十九日（金）には、交流会の準備のための「プレ交流会」を開催します。

谷相地区の皆さんと関係機関が一体となってこの交流会を成功させたいと思っていますので、交流会のお手伝いができる方は是非ご協力をお願いします。

【連絡先】

谷相地区集落営農組合

組合長 前田泰生

Tel 59-33357



【お知らせ】

- プレ交流会：10月29日
- 「またきいや谷相へ」（交流会）：11月7日
- 水稻栽培研究会：11月18日
- オペレーター一部会：11月18日
- 交流会反省会：11月16日
- 谷相地区集落営農組合先進地研修：12月上旬

【集落営農とは】

ひとつの農家では解決できない地域の農業のいろいろな問題を、集落のみんなと知恵と力を出し合って解決し、集落づくりにつなげていくことです。

『谷相地区集落営農組合について』

谷相地区集落営農組合は、「咲かそう・実らそう谷相の夢」をスローガンに集落の維持発展をめざして平成21年2月に設立しました。

オペレーター一部会、水稻栽培研究会、アジサイ栽培研究会、直販部会、青ネギもうかる会、交流専門委員会の6つの作業部会ができ、様々な活動を行っています。

『座談会や研究会に参加しよう！』

地域の皆さんの参加がないと「始まらん」会ですので、今まで参加された方も、途中からの参加はしにくいと思っていらっしゃる方も、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。



発行：中央東農業振興センター
農業改良普及課

連絡先：香美市土佐山田町加茂 777

TEL：0887-53-3039

FAX：0887-53-5140